

記録的な豪雨、爆発的に広がる新型コロナウイルス感染症

いまこそ、命を守る政治の実現を！

記録的な豪雨、そして新型コロナウイルス感染者が爆発的に増える中、終戦から76年を迎え、広島・長崎での原水禁大会に加え、各地で戦没者追悼式典が開催されました。15日に都内で開かれた追悼式典で菅総理は、安倍前総理同様、近隣諸国への加害責任に全く触れず、先の大戦を反省する姿勢を見せませんでした。一方、「人流は減っている」と楽観視していた菅総理の言葉とは裏腹に、新型コロナウイルス感

染者数は、連日、各地で過去最多を記録。昨日の横浜市長選挙で立憲民主党推薦の山中竹春さんが、前閣僚で菅総理が支援した小此木八郎候補に圧勝したように、新型コロナ対策での政府への不信は頂点に達しています。感染した妊婦が病院で出産できず、赤ちゃんが死産するなどの痛ましい事例も生まれています。救える命、救わなければならない命を放置しない——野党は結束して臨時国会の早期召集を求めています。

戦後最大級の危機に対し
野党が共同で臨時国会の召集求める

立憲民主党、共産党、国民民主党、社民党の4党は8月17日、国会内で臨時国会の召集を求める集会を開催（写真・右上）。各党の党首らを含め、約40人の議員が参加しました。

冒頭、立憲民主党の安住淳国対委員長は、九州を始め全国を襲った記録的な豪雨への対応、拡大の一途をたどる新型コロナウイルスへの対策など、国会で審議すべき課題が山積する一方、野党が憲法53条に基づいて臨時国会召集

の要求を提出しても、政府・与党が一顧だにしない現状を厳しく批判。「『国会開け』の声を全国に広げ、来るべき総選挙に結束して臨んでいきたい」とあいさつしました。

立憲民主党の枝野幸男代表は、新型コロナウイルスの感染が全国で爆発的に広がっている現状について「戦後最悪の災害」「戦後最大級の緊急事態」と指摘。「もはや前例や縦割り主義、平時のスピード感では命を救えない」として、①急ぎ、臨時国会を開き、与野党はもとより、全国の自治体、関連民間機関の総力を結集して危機に立ち向かう体制を作ること②大規模な療養・治療施設を急ピッチで整えると同時に、人流抑制のための補償をセットで行うこと③医療機関への支援、生活・雇用・事業を守るための補正予算を速やかに編成して執行すること——などを提案しました。

合わせて、これらの提案を総理が受け止め、与野党の党首会談を開きたいとの呼びかけがされれば、積極的に対応し、責任を果たしていく考えを示しました。

さらに枝野代表は、感染症対策は「政治による責任を持った言動と、それに納得していただける国民の皆さんの協力があって初めて効力が生じる」として、デルタ株の猛威を軽視し、場当たりの対策に終始することで国民の信頼を失っている菅総理の姿勢、対応を強く批判しました。

新田原基地への
F35B配備は許さない

防衛省は、航空自衛隊新田原基地（写真・右）にF35Bステルス戦闘機約20機を配備する計画を発表しました。短距離離陸と垂直着陸のできるF35Bを、海上自衛隊の航空母艦「かが」とセットで運用しようとするものです。F35Bを航空母艦と一体で運用するようになると、迎撃専門の新田原基地が攻撃型の基地になります。これは、敵基地攻撃能力そのものであり、あきらかな憲法違反です。



宮崎県の自衛隊の基地を、外国を攻撃するための基地にするわけにはいきません。

私たち社民フォーラムみやざきは、日米共同訓練反対宮崎県民共闘会議などと共に、8月6日以降、宮崎県、宮崎市、新田原基地、新富町に対して、F35B配備中止を求める申し入れを行っています。



A L P S 処理水の放水にノー 党 P T がヒアリング



「関係者の理解なしにはいかなる処分も行わない」という東京電力と地元漁業者との約束を反故にして、政府は今年4月、東電福島第一原発事故に伴うアルプス（多核種除去装置）処理水の海洋放出を決めました。立憲民主党宮城県連としては7月に「福島第一原発ALPS処理水対策プロジェクトチーム」を設立し、活動を本格化しています。



7月29日、仙台市内で東京電力へのヒアリングを実施しました（写真・左上）。石垣のり子参院議員（PT顧問）が「処理水排水ありきで進んでいないか」と質したのに対し、東電は「関係する方のご理解が大前提。今後も努力していきたい」と繰り返すだけ。

岸田清美県議会議員（PT副座長＝社民フォーラム県議団）は、現在でも東電がADR（裁判外紛争解決手続き）

の結論を拒否する事例が多発していることを取り上げ、処理水放出に伴う風評被害対策が信頼に足るものになるかどうか、強い疑問を呈しました。



8月2日には石巻市内で県漁業協同組合との意見交換会を実施しました（写真・左）。主なやり取りは以下の通り。

PT 処理水放出の問題は何か

漁協 東電からの説明はあくまでも「やること」が前提。安全性の説明だけで「風評被害」への対応も具体的なものは何もない。断固反対

PT 来年、試験放出。2年後に本格放出というスケジュールについては

漁協 トリチウムを放出した湾内で飼育試験をするというが、いまからの話。本来、事前に試験を行い、データを検討しておくべきもの。放出と同時に湾内で飼育試験をやつて、影響があったらどうするのか

PT 県への要望は

漁協 大切なのは生業が継続できること。処理水の放出は40年間続く。私たちが何か事を犯したわけではないのになぜ責任を負わされるのか。理不尽な話だ

PT 取水、排水の場所も決まっていないが

漁協 そこが一番大切。2年後に本格放出をするというのに、現段階で決まっていないのは、その場しのぎだ。国には、こんな東電に任せて大丈夫なのかと言いたい。責任の所在をはっきりと示してほしい。



運営委員会を開催 衆院選挙に臨む姿勢を議論

7月26日に埼玉社民フォーラム第4回運営委員会が開催されました。

運営委員会では10月にも予想される衆議院選挙について、今年度計画案に記載されている通り、立憲民主党、社民党の所属議員は、それぞれの党の方針のもとで衆議院選挙を闘うことを確認しました。

それを前提として、埼玉社民フォーラムとしてどのよう

に衆議院選に臨むかについて議論しました（以下、確認事項の一部）。

＊立憲民主党所属の会員は、今回が初めての立憲での総選挙になりますが、この活動を通して立憲の党員と積極的に交流し、党の拡大強化に向け、どのような活動ができるか相談していきましょう。

＊社民党所属の会員は、比例区では社民党への支持を訴えていきましょう。小選挙区では立憲民主党候補の当選をめざします。これまでの衆議院選にも増して重要な闘いです。野党第一党の議席拡大をめざしましょう。

吉川はじめ



衆院選勝利 に向け

吉川はじめ が選挙区を走る！

衆議院選挙大分2区（比例重複）から立候補予定の吉川はじめ衆院議員は、6月の通常国会閉会後から、8市2町の広い選挙区を駆け回り、真っ黒に日焼けしています。



朝7時半には街頭宣伝を開始し、日中は支持者回りに奔走。農村部では軽トラに乗って街宣。関アジ・関サバで有名な佐賀関では、伝馬船に乗って海の上から洋上街宣（写真・左）に取り組み、4回目の挑戦で今

度こそ、選挙区での議席奪取へと意気込んでいます。

そんな吉川はじめ議員にカンパのお願いです！

九州労働金庫 臼津（きゅうしん）支店

普 5436508

口座名： 元友会 代表 吉川元

振り込まれた方、お手数ですが、各県のフォーラム又は本ニュースの右上に記したフォーラム中央の事務所までご連絡いただければ幸いです。

衆議院選挙・島根2区に

山本誉（やまもと・ほまる）さんの擁立決定！

立憲民主党は8月10日の常任幹事会で、来る衆議院選挙で島根2区からフォーラム会員でもある山本誉さんの擁立を決定！ 全力で支援しましょう。